

Bloomberg

ブルームバーグ ユーザーワークステーションの要件

日本語

2022年5月23日

バージョン:7.0

	標準ユーザー		トレーディングシステム・ユーザー(パワーユーザー)*	
コンポーネント	推奨要件	最小要件	推奨要件	最小要件
プロセッサ	インテル第 11 世代 (Rocket Lake/Tiger Lake) Core i7 または i9 論理コア数: 8	インテル第 6 世代 (Skylake) Core i7/i5/Xeon 論理コア数: 4	インテル第 11 世代 (Rocket Lake/Tiger Lake) Core i7 または i9 論理コア数: 12	インテル第 6 世代 (Skylake) Core i7 論理コア数: 4
	AMD Ryzen 5、7、または 9 5000 シリーズ 論理コア数: 8	-	AMD Ryzen 5、7、または 9 5000 シリーズ 論理コア数: 12	-
	PassMark®スコア: 2,500	PassMark®スコア: 1,700	PassMark®スコア: 2,500	PassMark®スコア: 1,700
オペレーティングシステム	Windows 10 (64 ビット)	Windows 10 (64 ビット)	Windows 10 (64 ビット)	Windows 10 (64 ビット)
メモリ	32 GB RAM	16 GB RAM	32 GB RAM	16 GB RAM
ハードディスク	SSD (空き容量 25 GB 以上)	空き容量 15 GB 以上	SSD (空き容量 25 GB 以上)	空き容量 15 GB 以上
ビデオカード	専用グラフィックスカード (デュアルポート) で、RAM 容量 512MB 以上 DirectX 11.x に対応のもの			
ディスプレイ設定	1920x1080x32 (推奨) デュアル・ディスプレイ (推奨)			
ネットワーク・アダプタ	TCP/IP サービス対応のネットワーク・アダプタ			
キーボード	ブルームバーグ・キーボード用空き USB ポート			

* 同じワークステーションで複数の CPU やメモリ使用率の高い別のアプリケーションをご使用の場合は、メモリの増加、より高速な CPU コア、および/または CPU コアの追加など、推奨要件よりも高性能のハードウェアが必要となる可能性があります。

* 通常、デスクトップの CPU はラップトップのようにバッテリーや冷却に関する制約がないため、モバイル・チップセットよりも長時間高速を維持できます。

* 最新の CPU モデルには、低速で動作するパフォーマンススコアに加えて、効率的なコアが搭載されています。

* 最小要件で PC 上のブルームバーグ ターミナルをご利用の場合は、パフォーマンスが低下する可能性があります。

* トレーディングシステムのユーザーとは、AIM/SSEOMS/EMSX/ETOMS/TSOX/FXGO/FIT/TOMS をご利用のお客さまを指します。

* PassMark®ソフトウェアのシングルコア・ベンチマーク・スコアは、CPU の性能を示す指標です。詳細は、<https://www.cpubenchmark.net/>を参照してください。

* Windows7 のサポートは終了しています。Windows11 のサポートは、ブルームバーグ ターミナルのバージョン 78.3 (2021 年 11 月) 以降に追加されました。

* ARM ベースの CPU は、ターミナルのインストールではサポート対象外です。

ブルームバーグ・ユーザーのワークステーション要件

前ページに記載のワークステーション要件は、主なお客さまのニーズに基づいて設定されています。これらの推奨事項は、さまざまな要因に基づいて定期的にレビューおよび更新されます。ブルームバーグ ターミナル、ブルームバークの各アプリケーション、サードパーティ製のアプリケーション (Microsoft Office Suite、注文管理システムなど) を併用される場合は、さらに高い要件が必要となることもあります。

変化の激しい市場動向をモニターする場合、この「推奨要件」をユーザーエクスペリエンス・オプションの「最小要件」とみなしてください。

仮想デスクトップインフラストラクチャー (VDI) およびリモート環境

- 仮想デスクトップインフラストラクチャー (VDI) でブルームバーグ ターミナルがサポートされるかどうかは、VDI ソリューションが通常通り (またはそれ以上) のパフォーマンスを提供することが可能であるかどうか、または当文書の 2 ページに記載された必要な PC 環境を満たしているかどうかといった条件により異なります。
- 従来の (オープン) ブルームバーグ・ライセンスでは、VDI やリモート環境は使用できません。VDI およびリモート環境が使用できるのは Bloomberg Anywhere ライセンスのみとなります。
- 仮想化およびデスクトップリモート技術は、いくつかの要因によりブルームバーグ ターミナルのパフォーマンス低下につながる場合があります。これを防止するため、ブルームバーグでは仮想化ベンダーの参照モデルとキャパシティ・プランニング・ガイドラインに従うことを推奨しています。これにより、VDI ソリューションのユーザーにデスクトップ PC ユーザーと同等もしくはより高いユーザーエクスペリエンスを提供できます。さらに、以下の点はブルームバーグ ターミナルのお客さまが VDI およびリモート・ソリューションを導入する際に慎重に考慮する必要があります。
 - 当資料 2 ページで推奨される、VM セッションごとの十分な CPU、メモリおよびディスク容量の割り当て。
 - ネットワークの遅延と帯域幅 (VDI クラスタからデスクトップ)。
 - 各種リアルタイム・モニタリング・コンポーネント (ローンチパッド、Excel シートなど)。
 - 自動化されたブルームバーグ・ソフトウェア月次更新のサポート。
 - VDI またはリモート・ソリューション対応のブルームバーグ・キーボード。
 - ディスプレーの数と各ディスプレイのデスクトップ解像度 (総画素数)。
- ブルームバーグは、Thin/Zero クライアントと仮想マシンとの間での最大推奨ネットワーク遅延を 35 ミリ秒 (56 バイト、ラウンドトリップ Ping) としています。
- ブルームバーグでは主要な VDI 環境で一部機能のテストを実施していますが、特定の VDI 環境における技術的なサポートを提供できない場合があります。

ブルームバーグ・ユーザーエクスペリエンス・スコア

PC のパフォーマンス機能の評価するには、ターミナル上で機能 BEXP<GO>を使用してテストを実行してください。当機能は、ターミナル上にあるアプリケーションの動作状況をシミュレーションし、システムの処理能力を示すスコア (1-10) を出力します。一連の診断テストを実行することにより、PC の潜在的なボトルネックを特定します。

サポート対象のオペレーティングシステムおよび Microsoft Office バージョンの詳細については、[Documentation](#) セクションでソフトウェア互換性マトリックス (Software Compatibility Matrix) を参照してください。